

# 日本 SI 学会 FD 研修企画の募集案内

日本感覚統合学会教育指導部

日本感覚統合学会（以下、学会）の事業を担う会員の研修と、学会会員のローカルな研修会等を FD 研修として開催することを支援します。

学会の事業の継続と発展のために、インストラクター（認定講習会テストメカニクスインストラクター）は、一層の臨床力（評価、解釈し、臨床に結びつける能力の向上、実践）が、講師（認定講習会講師）においては、さらに教育や学会の積極的な事業の推進が求められています。これらの役割を担うための、インストラクターと講師の研修会などの開催を積極的に進めていきます。

感覚統合に関する研鑽の場として、全国規模で毎年開催される日本感覚統合学会（以下、学会）の研究大会、感覚統合入門講習会、感覚統合療法認定講習会、アドバンスコースなどがあります。また、一部の地域では、独自に感覚統合に関する研究会など立ち上げて、ローカルな研修会や勉強会を開催しているようです。しかし、全国規模の研修会は、日程が合わない、遠い、費用が高いなどの理由で参加できない、また自身が活動する地域は学会会員数が少ないこと、どのようなテーマで研修会を開催してよいか分からないなどの状況で、感覚統合の研鑽の場が限られているようです。

元々 FD（Faculty development）研修とは、大学教職員および大学組織の職能開発の取り組みをさしていますが、本学会では「学会の事業を担う人員のための研修会」だけでなく「地域規模の研修会や勉強会」を含め FD 研修として、その開催を支援することになりました。そこで、FD 研修の企画募集をしますので、下記の通り是非応募してください。

## 記

1. 申請できる方：日本感覚統合学会の会員です。
2. 申請受付期間：随時募集しますが、予算執行期間は連続 2 年度、2021 年度以降の実施となります。
3. 申請概要：ファイル「FD 研修企画申請書類【代表者名】.xlsx」にある申請書と予算書のシートを同ファイルにある 【書き方例】を参考に記入し、連絡先あてにメールでお送りください。
4. 申請書：企画の代表者・連絡窓口の方、FD 研修の実施時期、形式、参加者、企画概要について、分かる範囲でご記入ください。
5. 予算書：企画での収入部と支出部についてその金額をご記入ください。収入となる運営補助金は、1 つの企画に対して 10 万を基準とし、最大 50 万円までとします。未定の予算

の項目は、数値を入れず、そのセルを「緑色」としてください。

6. 申請後の流れ：申請された「FD 研修企画申請書類【〇〇 太郎】.xlsx」を確認し、約1か月後を目途に、FD 研修担当者からメール等で連絡調整をさせていただきます。なお、申請件数や年度予算の関係で、すぐにお受けできないことがあります。
7. F D 研修の実施：申請された方々には、F D 研修の計画・運営をおこなって頂きますが、担当する F D 研修担当者が継続してご支援いたします。
8. その他：申請方法は、断りなく変更することがありますので、ホームページ等で最新の情報を確認して応募していただきますようお願いいたします。

以上

**【連絡先：FD 研修 総括】**

埼玉県立大学 保健医療福祉学部

作業療法学科 川俣 実

e-mail：kawamata-minoru@spu.ac.jp

東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部

作業療法学科 佐々木 清子

e-mail：kiyo-ymt@tpu.ac.jp